

【質問 4】 東北電力株式会社の取り組み：MOX燃料を使用する東北電力株式会社の安全管理体制はどうなっているのか。過去にはいろいろな事象が発生しているが、現在どのように取り組んでいるのか。

【回答：東北電力株式会社 常務取締役原子力部長 井上茂氏】

■安全体制・管理体制の構築、組織マネジメント能力向上、コミュニケーション能力向上

東北電力原子力部の井上でございます。講師の先生方から、弊社の安全管理について今日、色々お話をいただきましたので、私のほうからも若干安全管理の話をさせていただきたいと思えます。

当社は社長をトップとした、安全管理体制を構築して社長から現場の社員、そして、協力企業の方々まで、安全最優先の意識を徹底して、品質保証体制のもとに原子力発電の運営にあたってきておるところでございます。

このような中で昨年、一連の不適合事象に関連しまして、直接的な原因の対策はもちろんのことといたしまして、その背景にございます、組織的な、そういう根本的な要因について分析いたしました。

その結果、組織のマネジメント、そして、内部のコミュニケーションにさらなる改善点があるということを確認いたしました。先ほどの長谷川先生のお話と重なりますけれども、現在その再発防止対策に現場の隅々まで、きめ細やかなマネジメントが行き届くように、発電所の組織整備を段階的に行っているところでございます。

また訓練としては、自らの作業、仕事がですね、そういうリスクがどういうふうにあるか。そういうことを予測してするように、リスク想定訓練をやったりですね、また、チームとしてのコミュニケーションを良くするためにはどうしたら良いかというような、コミュニケーションの能力向上訓練、そういうものをして、改善に努めているところでございます。

現在、発電所は、順調に安全安定運転を継続しておりますけれども、これまで実施してきた改善が着実に定着したからかと考えているところでございます。また定期検査を通しまして、設備の維持をしっかりと確実にすること。また、先ほどヒューマンエラーというお話もございましたけど、そういうヒューマンエラー等、小さなトラブル、不具合に対しても、一つ一つを確実に対策を考えて、そして処理して、継続して改善活動を進めていくことによって、不具合の未然防止ということに努めているところでございます。

今後も、安全を最優先にいたしまして、発電所の運営に努めて、地域の皆様方の信頼を得てまいりたいと思えますので、どうぞ宜しくお願いいたします。